

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2007-149096(P2007-149096A)

【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2006-317041(P2006-317041)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月20日(2009.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信におけるビジネス情報を識別することができるいくつかのデータ要素の少なくとも 1 つを命名する動作をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記動作は、

データ要素を、1 つまたは複数のデータ要素を備える集約データ要素に関連付けるステップであって、前記データ要素は、前記データ要素が属する論理グループを表すオブジェクトクラス項、および前記論理グループの特徴を表す属性項が関連付けられているように構成されているステップと、

前記データ要素に割り当てることが有効な値を定義するデータタイプを選択するステップであって、前記データタイプは、前記データタイプを記述する追加の意味論的制限を表す修飾子項を備えているステップと、

前記集約データ要素の名前に応じて、前記修飾子項を、前記データ要素の前記属性項と前記オブジェクトクラス項のうち少なくとも一方に割り当てるとステップを含むことを特徴とするプログラム。

【請求項 2】

前記集約データ要素は、前記論理グループを意味論的に定義する集約クラス項が関連付けられているように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記修飾子項が前記集約クラス項と同一である場合、前記修飾子項は、前記オブジェクトクラス項に割り当てられ、前記修飾子項が前記集約クラス項と同一でない場合、前記修飾子項は、前記属性項に割り当てられることを特徴とする請求項 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記動作は、前記集約データ要素の前記名前を前記修飾子項と比較することによって、前記修飾子項が前記属性項または前記オブジェクトクラス項に割り当てられているかを決定するステップをさらに含み、前記名前は、集約クラス項を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 5】

前記決定は、前記修飾子項が前記集約クラス項と同一である場合、前記修飾子項を前記オブジェクトクラス項に割り当てるとために行われることを特徴とする請求項 4 に記載のプ

ログラム。

【請求項 6】

前記データ要素は、前記オブジェクトクラス項を意味論的に限定するオブジェクトクラス項修飾子が関連付けられているようにさらに構成され、前記データタイプは、前記データタイプをさらに意味論的に限定する追加の修飾子項をさらに備え、前記動作は、前記データタイプの前記追加の修飾子項を、前記オブジェクトクラス項修飾子に割り当てるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 7】

前記決定は、前記修飾子項が前記集約クラス項と同一でない場合、前記修飾子項を前記属性項に割り当てるために行われることを特徴とする請求項 4 に記載のプログラム。

【請求項 8】

前記データ要素は、前記属性項を意味論的に限定する属性項修飾子が関連付けられているようにさらに構成され、前記データタイプは、前記データタイプをさらに意味論的に限定する追加の修飾子項をさらに備え、前記動作は、前記データタイプの前記追加の修飾子項を、前記属性項修飾子に割り当てるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 5 に記載のプログラム。

【請求項 9】

前記データ要素は、前記属性項を意味論的に限定する属性項修飾子、および前記オブジェクトクラス項を意味論的に限定するオブジェクトクラス項修飾子が関連付けられているようにさらに構成され、前記動作は、ユーザから追加の修飾子項を受け取るステップ、および前記追加の修飾子項を、前記属性項修飾子、前記オブジェクトクラス項修飾子、またはその両方に割り当てるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 10】

前記データタイプは、前記修飾子項によって意味論的に限定されたデータタイプ項をさらに備え、前記データ要素は、表記項が関連付けられているようにさらに構成され、前記データタイプ項は、前記表記項に割り当てられることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 11】

前記データタイプは、追加の修飾子項をさらに備え、各追加の修飾子項は、前記データタイプをさらに意味論的に限定することを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 12】

前記データ要素は、前記属性項を意味論的に限定する属性項修飾子が関連付けられているようにさらに構成され、前記動作は、追加の修飾子項が前記集約データ要素の前記名前内の項と同一でない場合、前記データタイプの前記追加の修飾子項を、前記属性項修飾子に割り当てるステップ、または前記追加の修飾子項が前記集約データ要素の前記名前内の項と同一である場合、前記データタイプの前記追加の修飾子項を、前記データ要素の前記オブジェクトクラス項の少なくとも一部分に割り当てるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載のプログラム。

【請求項 13】

各修飾子項はさらに、前記データタイプが表しうる値の制限に関連付けられていることを特徴とする請求項 11 に記載のプログラム。

【請求項 14】

前記動作は、新しいデータタイプ定義を、各限定されたデータタイプに関連付けるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 13 に記載のプログラム。

【請求項 15】

前記データタイプは、集約データタイプであることを特徴とする請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 16】

データ要素は、コアコンポーネント技術仕様 (CCTS) に準拠した基本ビジネス情報

エンティティ（ＢＢＩＥ）または関連ビジネス情報エンティティ（ＡＳＢＩＥ）であることを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項１７】

前記修飾子項は、別の修飾子項のためのプレースホルダである可変修飾子項であることを特徴とする請求項１に記載のプログラム。

【請求項１８】

前記可変修飾子項は、すべての大文字を含み、非英数字記号で開始および終了することを特徴とする請求項１７に記載のプログラム。

【請求項１９】

ビジネス情報を表す少なくとも１つの要素に名前を割り当てるシステムであって、データ要素であって、前記データ要素が属する論理グループを表すオブジェクトクラス項、および前記論理グループの特徴を表す属性項が関連付けられているように構成されているデータ要素と、

前記論理グループを定義する集約データ要素と、

前記データ要素に割り当てることが有効な値を定義するデータタイプであって、前記データタイプを記述する追加の意味論的制限を表す修飾子項を備えるデータタイプと、

前記集約データ要素の名前に応じて、前記修飾子項を、前記データ要素の前記属性項と前記オブジェクトクラス項のうち少なくとも一方に割り当てる名前アサインとを備えることを特徴とするシステム。

【請求項２０】

通信におけるビジネス情報を識別するデータ要素を命名する方法であって、

データ要素を、１つまたは複数のデータ要素を含む集約データ要素に関連付けるステップであって、前記データ要素は、前記データ要素が属する論理グループを表すオブジェクトクラス項、および前記論理グループの特徴を表す属性項が関連付けられているように構成されているステップと、

前記データ要素に割り当てることが有効な値を定義するデータタイプを選択するステップであって、前記データタイプは、前記データタイプを記述する追加の意味論的制限を表す修飾子項を備えるステップと、

前記集約データ要素の名前に応じて、前記修飾子項を、前記データ要素の前記属性項と前記オブジェクトクラス項のうち少なくとも一方に割り当てるステップとを含むことを特徴とする方法。